

【佐賀県太良町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和3年1月)等を踏まえ、ICTの利活用により「個別最適な学び」や「協働的な学び」を促進し、Society 5.0時代を生き抜く力を育む教育を進める。また、太良町教育の基本方針である“豊かな人間力を育む学校教育の推進”の一環として教育DXを見据えた学習環境の充実を図る。

2. GIGA第1期の総括

(1) 現状

本町では、コロナ禍に伴う国のGIGAスクール構想に基づく整備が加速する中、令和2、3年度に1人1台端末の整備を完了した。それに伴い、通信ネットワークの構築などGIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を図ってきた。併せて、ICT支援員配置事業やGIGAスクール運営支援センター事業により、機器の不具合対応等のサポートを行ってきた。

また、特別教室等への電子黒板の導入により、全ての教科でデジタル教科書の活用が進んでいて、一定の成果は上げていると感じている。しかし、1人1台端末の持ち帰り状況を見ると授業以外での利活用が不十分であると言える。

(2) 課題

- ・1人1台端末の課題として、立ち上がりに時間がかかっている。
- ・1人1台端末の活用頻度について、学校間や教職員間で差が生じている。
- ・ネットワークの課題として、一部教室で通信速度の遅延が見受けられる。
- ・家庭のネットワーク環境の未整備など、1人1台端末の持ち帰り学習が推奨できていない。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第1期の総括でも述べたように、課題は山積している状況であることから、以下の取組を通して1人1台端末の利活用(児童生徒が自分で調べること、児童生徒が自分の考えをまとめ発表・表現すること、教職員と児童生徒のやりとり、児童生徒同士のやりとり、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組むこと等を想定)を図る。

(1) ICT環境の整備

ネットワークアセスメントを行うことで、問題点を整理する。なお、ネットワーク整備計画でも述べているように、有効な改善方策を検討し実施する。

(2) 1人1台端末の利活用

毎年度初めに家庭でのネットワーク環境に関する調査を行い、全ての児童生徒が家庭で1人1台端末を使用できるよう支援していく。

(3) 学校・教職員のICTスキルの向上

情報教育担当教職員と教育委員会担当者で構成する委員会を立ち上げ、定期的に委員会を開催し、教職員のICTスキルの向上を図る。また、GIGA第2期ではOSを近隣市町と同じChromeに変更する予定であるため、近隣市町と様々な事例や情報を共有していく予定である。

また、「希望する不登校児への支援」、「希望する児童生徒への端末を活用した教育相談」、「外国人児童生徒に対する学習活動等の支援」、「障害のある児童生徒や病気療養児、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じた支援」等について1人1台端末を活用し、どこでも、だれでも学べる環境整備及び支援体制を整備していく。